

|   |  |         |               |
|---|--|---------|---------------|
| 科目名（英文表記）   | 地域経済・経営Ⅲ（北海道経済の課題）<br>(Regional Economy and Management Ⅲ)      |         |               |
| 科目区分  | 基礎科目   | 単位数     | 2 単位          |
| 担当教員名   | 小高 咲   | ナンバリング  | MBA_C_EM 6231 |
| 研究室番号   | —  | 研究室電話番号 | —             |
| Eメール・アドレス   | <a href="mailto:kotaka-sho@hro.or.jp">kotaka-sho@hro.or.jp</a> |         |               |
| <b>授業の内容及び方法：</b> 次頁以降に記載   |  |         |               |
| <p><b>授業の目的：</b>本授業では、まず経済の現状や構造をどのように把握するかを学びます。次に、それを北海道経済にあてはめて現状や構造を把握・分析します。そのうえで、コロナ禍の影響も踏まえつつ北海道経済の課題を洗い出し、具体的な課題解決の方向性を探っていきます。</p> <p><b>到達目標：</b>北海道経済の真の課題について各自が自分の理解を持ったうえで、北海道の経済的な基盤強化について、方法論も含めたアイデアを得ること。最終成果物は、特定の産業分野における課題、あるいは分野横断的な課題（人口減少、人手不足、中小企業の脆弱性、民間資本形成の不足等）に対する解決策・対応策を、方法論とともに考察しまとめたレポートとし、モジュール7、8において各自がレポートの内容を発表する。</p>   |  |         |               |
| <p><b>使用教材：</b></p> <p>①「エビデンスから北海道の未来を —北海道経済白書に向けて—」北海道経済同友会 2019年8月（北海道経済同友会HPからダウンロード可能）</p> <p>②「コロナを超えたその先に —with/afterコロナの北海道の新たな挑戦—」北海道経済同友会 2021年3月（北海道経済同友会HPからダウンロード可能）</p> <p>追加がある場合には、manaba上に提示します。</p>  |  |         |               |
| <p><b>成績評価の方法：</b></p> <p>●授業への参加姿勢（授業時における発言、グループディスカッションへの貢献、プレゼンテーション力など） 40%</p> <p>●事前・事後課題 20%</p> <p>●最終レポート 40%</p> <p>評価に不服のある場合には、不服申立書をもって教務委員長に申し出て下さい。</p>   |  |         |               |
| <p><b>履修上の注意事項：</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業内で出された意見やディスカッションを踏まえて授業内容を見直すことがあります。</li> <li>・授業内でのプレゼンテーションやディスカッションなどを通じて自分の意見を「発信すること、伝えること」を重視します。発信力強化に意欲のあることが履修の条件です。</li> <li>・最終レポートは、最低限、「ビジネス文書として読むに堪えるものであること」が必要です。文章を通じた発信力の強化に意欲・関心があることも履修の条件です。</li> <li>・外部実務家の講義を取り入れ、より大きな視点で北海道経済が置かれている状況やその変化を捉えたり、課題解決に向けた最新の動きに触れることを目指します。</li> <li>・授業の進行を変更・修正する場合には、manaba上においてその都度お知らせします。</li> </ul> |  |         |               |